ANNUAL REPORT

事業報告書2023



社会福祉法人 こうほうえん

理念 Philosophy

わたくしたちは地域に開かれた
地域に愛される地域に信頼される
こうほうえんをめざします。

法人概要 Corporate profile

事業内容	第一種・第二種社会福祉事業
設　　立	1986(昭和61)年6月
代 表 者	理事長 廣江 晃
職 員 数	2,355名(2024年3月31日現在)
経常収入	139億400万円(2023年度)
事　　業	事業所数 119ヶ所(鳥取県、東京都) 実施サービス 222(介護・高齢者事業185、保育事業12、障がい福祉事業20、医療事業5)

方針 Policy

01 基本方針
わたくしたちはサービス業のプロとして正しい情報を伝達し自分が受けたい保健、医療、福祉サービスの提供・改善に努めます。

02 基本方針(保育)
わたくしたちは子どもと同じ視点で等しくかかわりいつでも安心して利用できる保育サービスの提供、改善に努めます。

03 診療方針(錦海リハビリテーション病院)
わたくしたちは回復的リハビリテーション医療と地域連携を通して患者さんの社会参加を支援します。

2023年度スローガン
2023's Slogan

MOTTAINAIが合言葉
見つめ直そう個の尊厳
輝く人財　健康経営

2014年度
日本経営品質賞
大規模部門
(鳥取地区/介護)受賞

こうほうえんはISO9001-2015
(品質マネジメントシステムの
国際規格)を
認証取得しています

こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
おもてなし経営企業に
選定されました

こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
ハイサービス日本300選に
選定されました

ご挨拶 Greeting

2023
健康経営優良法人
Health and productivity

地域の皆さまとともに
課題解決に一つひとつ取り組む

2023年は、5月の新型コロナウイルスの5類移行にともない経済活動も徐々に復活し、中止されていたイベントも再開されるなど平常化が進んだ一年でした。日常が戻ってくることはとても喜ばしいことながら、人手不足もさらに深刻になり他の介護事業者の休所や閉鎖のご案内を多く頂いた年でもありました。人口減少など社会情勢が変化する中、こうほうえんとしても適切な形に事業内容を変更することを余儀なくされた一年でもありました。

2023年4月に1ユニットの米子市のグループホームかわさきを1ユニット増床移転し『グループホームはたがさき』と名称変更してスタートしました。認知症の高齢者は今後も増加が予想されており、その対応を地域全体で行うためにも2ユニット化は必須と思っています。

また、同じく4月、米子市永江地区に『コミュニティーセンターりんRIN』をオープンしました。地域の皆さんの寄り合い場所とともに地域包括支援センターとリハビリ特化型デイサービスの『エンジョイりんRIN』を併設した建物としました。この拠点をきっかけに永江地区の地域交流がますます盛んになってくればと考えています。

10月より、『鳥取湖東地域包括支援センター』を新たに受託しました。従来より受託している『鳥取北地域包括支援センター』と合わせて鳥取市における高齢者支援の一翼を担っていきたいと思います。

2024年2月に、日本生産性本部が設立した経営デザイン認証委員会より、東京地区介護部門が「経営デザイン認証 スタートアップ認証」を受けました。ちょうど10年前に鳥取県の介護部門で「日本経営品質賞」を受賞しました。その後も経営品質を意識しながら事業運営を行ってきましたが、再スタートの意味も込めて今回応募し、受賞しました。今後もさらに取り組みを進めていきたいと思っています。

また、同じく2月に、『ケアホーム西大井こうほうえん』が、日本で5事業所目となる「ユマニチュード認証 ブロンズ認証」を受けました。ユマニチュードとは、フランス発祥の対人のコミュニケーションの重要性をベースとしたケア技法で、認知症の方などに特に有用とされています。今後こうほうえんの他の事業所でも広げていきたいと思います。

2024年元旦に発生した能登半島地震では福祉施設も甚大な被害を受けました。こうほうえんにおいても、DWAT、JRAT他多くの災害時職員派遣を行いました。東日本大震災から数えても、数年おきに日本の各所で大きな災害が起こっています。地震の活動期に入っているとすると常に災害に備え施設及びその周辺地域の安全も考えていかなければなりません。今後とも、地域の皆さまとともに一つひとつ課題解決に向けた取り組みができればと思います。

理事長　廣江　晃



2023年度トピックス　2023's Topics

Topics 01 東京地区 介護部門が「経営デザイン認証」を受賞しました

「スタートアップ認証」10組織に選出

2024年2月22日、(公財)日本生産性本部が設立した経営デザイン認証委員会より、組織のありたい姿や変革課題等を「経営の設計図」に描き、明確化していると認められた組織を認証する「経営デザイン認証」の第6回認証組織の発表がありました。
そこで、東京地区 介護部門が「スタートアップ認証」10組織のうちの1つに選ばれました。

経営デザイン認証
2024年2月-2027年2月 スタートアップ認証

■経営デザイン認証
スタートアップ認証　【組織名】社会福祉法人こうほうえん 東京介護部門　【本社所在地】東京都新宿区
【業種】福祉・医療サービス　【設立】1986年　【売上】18.6億円　【社員数】297人

Topics 02 『ケアホーム西大井こうほうえん』がユマニチュード認証のブロンズ認証

日本で5事業所目となるブロンズ認証

2024年2月25日、『ケアホーム西大井こうほうえん』が日本で5事業所目となる、ユマニチュード認証のブロンズ認証を受けました。ユマニチュード認証は、フランス生まれのコミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」を通じて、質の高い良いケアを実践している組織を、予め定められた評価基準の元に認証する制度です。
『ケアホーム西大井こうほうえん』は、ユマニチュードに取り組み始めて7年となり、入居者一人ひとりに合った個別性の高いケアを行っています。職員がご利用者の今までの人生を知り、個人の尊厳を支えるケアを実践している点も高く評価されました。

LABEL HUMANITUDE
GAGE DE BIENTRAITANCE
ユマニチュード認証
ブロンズ
社会福祉法こうほうえん
ケアホーム西大井こうほうえん

【ことば】ユマニチュード認証制度とは

日本ユマニチュード学会が創設した認証制度。本人・家族、職員、経営者のすべての幸せを目指し、ユマニチュード5原則と生活労働憲章の実現を通じて質の高いケアを実践している組織を育成・支援し、その輪を広げていくことを目的としています。取り組む組織の種類によって医療系と介護系に分かれており、それぞれ「ブロンズ(共通)」「シルバー」「ゴールド(国際認証)」3段階で認証します。
「ブロンズ(共通)」は基本の理解と導入、「シルバー」は基本の実践と定着、「ゴールド(国際認証)」は高いレベルでの実践と定着と定められており、今回『ケアホーム西大井こうほうえん』が認証した「ブロンズ(共通)」は、ユマニチュードに組織を挙げて取り組む体制が出来上がっており、職員がユマニチュードの基本を理解し、実践に取り組んでいる組織となります。

日本ユマニチュード学会
ニュースリリース

ユマニチュードに取り組む『ケアホーム西大井こうほうえん』の目標

住んでいる方が**楽しく**暮らすことができて…
私たちも**楽しく**働くことができて…
絶えず**「ここに住みたい」「ここで働きたい」**と
希望してくれる方がいて…
関わる人すべてが**幸せ**になることができる



本審査の様子

Topics 03

能登半島地震の被災地派遣

災害時に二次被害を防ぐリハビリテーションの専門家JRAT、福祉の専門家DWAT等を派遣

2024年1月1日、石川県能登半島を襲った最大震度7の巨大地震。こうほうえんでは、能登半島地震の被災者を支援するため、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）からの派遣等支援協力要請を受け、鳥取JRATに登録している職員を初めて被災地に派遣しました。その後、鳥取県からの派遣等支援の協力依頼があり、鳥取県災害福祉支援チーム（DWAT）に登録している職員と、全国社会福祉協議会の派遣要請を受け介護職員を被災地に派遣しました。



第1クールの出発前には、鳥取県庁で出発式がありました。
上田紀行介護主任を激励する廣江晃理事長（左）

鳥取県チームにとって、今回の能登半島地震が初めての災害地派遣になります。DWATの活動内容は、大きく言えば、避難所で支援が必要な人の困りごとを聞いて解決につなげる福祉相談です。例えば、避難所で支援が必要な人の把握（スクリーニング）や、要配慮者のニーズの聞き取り（アセスメント）、2次避難先への受け入れや相談などのコーディネートなどを行います。避難所の福祉的ニーズは時間の経過とともに変化するので、フェーズに応じた支援が求められます。

能登半島地震では、1月8日に1.5次避難所が開設され、さまざまな県から集まったDWATは、石川県DWATのリーダーのもと福祉相談担当、ラウンド（巡回訪問）担当、相談担当の3つの役割に振り分けられ、第7クールまで活動を行いました。

活動報告

【JRAT】
派遣期間：2024年1月5日～1月10日　訪問先等：石川JRAT対策・活動本部（金沢市の金沢医科大学内）
活動内容等：新たな活動拠点の立上げ（七尾市の恵寿総合病院）、被災状況及び避難所についての情報集約　人数：2名
【DWAT】
派遣期間：2024年1月21日～2月3日
訪問先等：石川県金沢市内に設置の1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター、県産業展示室）
活動内容等：避難者（要支援者）のスクリーニング、アセスメント日常生活支援、避難所内環境整備等
人数：7名
【全国社会福祉協議会】
派遣期間：2024年2月24日～2月29日、3月8日～3月13日
訪問先等：医療法人平成会 介護医療院悠悠 いしかわ総合スポーツセンター
活動内容等：要配慮者へのケア支援　人数：3名



JRAT派遣の（左）平野正樹 作業療法士
（右）岩田久義 言語聴覚士
（錦海リハビリテーション病院）



全国社会福祉協議会派遣の
（左奥）平野敦 介護福祉士
（左手前）佐野修司 介護福祉士



鳥取県庁から被災地に
向けて出発する上田紀行介護主任



石川県DWATのリーダーのもと、
全国から派遣されたDWATが連携をして
さまざまな業務にあたりました



派遣先の『いしかわ総合スポーツセンター』に
開設された1.5次避難所。DWATは支援が
必要な人のテントを訪ね、ニーズに応じた対応や、
2次避難先の調整などを行います

2023年度トピックス 2023's Topics

Topics 04 永江地区に新しい『コミュニティセンターりんRIN』が開所

地域とともに新拠点を設立

2023年4月、こうほうえんと地域の住民団体が協力し、米子市の永江地区に新しい『コミュニティセンターりんRIN』が開所しました。1階には、こうほうえんが運営するフレイル予防に力を入れたデイサービス事業所『エンジョイりんRIN』と、『米子市尚徳地域包括支援センター』が入り、2階には一般社団法人「支え愛ネットながえ」が運営する交流スペースが設けられています。
永江地区は、こうほうえんが米子市で初めての認知症カフェを開催して以降、「永江を語る会」を立ち上げて、月に1回、地域や行政と話し合いを重ねてきた地域です。健康のサポートやコミュニティづくりに積極的にかかわり、その流れの中で新たな活動の拠点として『コミュニティセンターりんRIN』が誕生しました。



フレイル予防に力を入れる

デイサービス事業所『エンジョイりんRIN』は要支援の認定を受けた人と、要支援ではないけれど米子市のフレイル度チェックに該当した人を対象に、月～金曜日の午前と午後で10名ずつ受け入れています。
内容は、リハビリ専門職による体操やマシントレーニング、脳トレ体操など身体や頭を使った活動で、水曜日の午前中は「ショッピングリハビリ」といってスーパーに買い物に出かけます。また、月1回の運動機能のチェックや、歯科衛生士による口腔チェック、その他にも自宅で取り組めるフレイル予防などのミニ講座も開催しています。



『エンジョイりんRIN』では、
椅子に座ったままの運動や、器具を使った
トレーニングも行われています



『エンジョイりんRIN』は
フレイル予防に力を入れ、
理学療法士ら専門職による
指導が行われています

地域と目指す居心地の良いコミュニティ

1階には、『なんぶ幸朋苑』が米子市から委託を受けて運営している『尚徳地域包括支援センター』もあります。ここでは保健師や社会福祉士ら6人体制で総合相談の窓口となり、『りんRIN』内での相互連携や、外部の機関とも連携して住民をサポートします。
2階は子どもから高齢者まで、幅広い世代の交流の場所として利用できます。月額会費2000円の会員登録で、トレーニングマシンやeスポーツでゲームを楽しんだりできるほか、健康マージャン（水曜日）やカラオケ（木曜日）でリフレッシュができます。会員以外でもキッズスペースやカフェスペースを自由に利用でき、月2回開催される「オレンジカフェ」（認知症カフェ）は誰でも参加が可能です。



2階のキッズスペース



2階の交流スペースでは、さまざまなイベントを実施

Topics 05 いなばエリアに『鳥取湖東地域包括支援センター』開設

地域の豊かな生活を支える



鳥取湖東地域包括支援センター



鳥取湖東地域包括支援センター（事務所内）

2023年10月1日、鳥取市からの委託を受け、『鳥取湖東地域包括支援センター』が開設しました。これまで鳥取市の直営事業として運営されていたものを、体制の再編拡充に伴い、こうほうえんが引き継ぎました。

湖東地域は鳥取大学をはじめ、複数の高校、中学校、小学校があり、異文化の人達がいて、元気な高齢者の方達が暮らす活気あるエリア。この地域で元気に暮らし続けられるよう、一人ひとりの権利が正しく守られ保障されるよう、地域の豊かな生活を支える一翼としての活動が期待されています。

相談に来られる多くの方は「住み慣れた家で暮らしたい、まだまだ頑張りたい」との思いが強く、地域包括支援センターが総合支援を果たす役割はますます重要になってきています。

同日に『米子市住吉・加茂地域包括支援センター』が『ケアハウスよなご幸朋苑』の1階に事務所を移転しました。高齢者のみなさんが、住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように支援を行っていきます。

Topics 06 『地域密着型特定施設入居者生活介護 新いなば幸朋苑』開設

入居者一人ひとりのライフスタイルに合った個別ケア

2023年4月、『地域密着型特定施設入居者生活介護 新いなば幸朋苑』が開設しました。「地域密着型サービス」とは、介護が必要な方がいつまでも住み慣れた地域で生活できるように、市区町村指定の事業者が地域住民に提供する介護保険サービスの1つです。

当事業所は従来型ケアハウスから地域密着型特定施設へと新たにスタート。24時間体制で介護士、看護師、機能訓練指導員、相談員等、多職種が連携して入居者の生活のサポートの行っています。

これからも入居者一人ひとりのライフスタイルに合わせた個別ケアはもちろん、法人の理念である「地域に開かれた。地域に愛される。地域に信頼される」施設作りを目指していきます。



居室前の廊下



デイルームでの様子



レクリエーションの様子

2023年度トピックス 2023's Topics

Topics 07 『キッズタウン東十条保育園』東京都北区「子育ち応援モデル事業」実施園第1号

保育のプロが全力で“子育ち”を応援

2011年にJR東十条駅の隣に開設した『東十条保育園』。5階建ての園舎には通常保育園に、病気の回復期のお子さんを預かる病後児保育『すずらん』、児童発達支援施設『あとりえ』が併設されています。そこに新たに、東京都北区の「子育ち応援モデル事業」が加わりました。

東十条保育園は、このモデル事業実施園第一号。保護者の就労の有無にかかわらず、保育所などを利用していない未就学児が一定期間通園でき、集団生活のさまざまな体験や経験を得ることで“子育ち”を応援するとともに、子育て中の保護者を支援します。

第一期のスタートは2023年12月。定員12名のところ、89名もの応募がありました。2か月の利用期間を終えた後も、引き続き同園の一時保育を利用したり、ママ友だちにおすすめしたりする保護者が多く、一時保育の登録者がかなり増えています。



園舎はグッドデザイン賞も受賞した
5階建てのモダンな建物

「少子化や子育ての多様化が進む中で、保育園もそれに対応できる施設に生まれ変わる必要があります。病気や発達が心配な人、仕事を頑張りたい人、ライフスタイルに合った子育てをしたい人など、いろいろな人に選ばれる場所になれれば」と、これからの保育園像を語る小林美樹園長。「精一杯お手伝いするので、ぜひ頼ってください」と地域に呼びかけています。





「子育ち応援モデル事業」では、週1～2回の保育で少しずつ集団に慣れていきます







保育園の横を線路が走り、屋上にある園庭や保育室のたくさんの小窓から電車や新幹線を眺めることができます

Topics 08

「なんぶエリア」「いなばエリア」にICT機器導入

職員の業務負担軽減と生産性向上につなげる

「なんぶエリア」、「いなばエリア」では「地域医療介護総合確保基金事業補助金」を活用した大規模改修工事を実施しました。改修工事ではナースコール、固定電話等の更新に併せて、Wi-Fi等のネットワーク環境の拡充及び、新たにICT機器の導入を行いました。

今回の導入で目指したのは、スマホ端末を使用し、その中で様々なICT機器を管理・連動させることで現場職員の作業効率の向上を図ることでした。改修前は職員がPHS、MIMOTE（ミモテ）等複数の端末機器を持ち歩きそれぞれ対応していましたが、その機能を一台のスマホ端末（iPhone）にまとめることで今後、職場環境の改善、記録負担軽減による業務効率の改善につながることを期待しています。



ナースコール対応の様子

■対象事業所

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、ショートステイ、特定施設、ケアハウス、生活支援ハウス

■この度の改修工事で更新また新たに導入した機器

●ナースコール設備の更新：Vi-Nurse（アイホン社製）　●記録システムの導入：（ワイズマン社製、すぐろく等）
※記録システムについては「ICT導入支援事業補助金」活用

●インカム：ほのぼのTalk（NDソフト社製）※ネックスピーカーを使用し職員間の情報共有を行うアプリ

●見守りセンサー：眠りSCAN（パラマウントベッド社製）
※ベッドのマットレスの下に敷いて寝返り、呼吸、心拍などを測定するアプリ　●スマホ端末：iPhone（Apple社製）

ICT機器の導入効果については、導入前からICT機器への業務移行に時間がかかっていたため、今回は測定範囲内での効果判定となっています。

【いなば老健】ICT機器導入前後の比較

ICT機器・介護ロボット	項目	平均所要時間		増減
		導入前	導入後	
すぐろく（ワイズマン）	記録に残る残業時間	介護士：63時間	介護士：21時間	42時間減
		看護師：48時間	看護師：84時間	36時間増
	申し送り時間	20～25分	10分以内	50%減
眠りスキャン（パラマウントベッド）	眠りセンサーによるリスク回避ヒヤリハット発生件数	居室（ベッド周り）転倒転落件数		増減
		導入前	導入後	
		16件	11件	30%減



インカム充電の様子



スマホ端末での記録の入力

【いなば通所】ICT機器導入前後の比較

	作業時間（1回または1日）		使用枚数（年間）		コスト内訳	その他（備考）
現行書類（現行業務）	移行前	移行後	移行前	移行後		
業務日誌・ワークシート移行			1095枚	0枚		
連絡帳	90分	60分	9000枚	9000枚	時間−900分/月　用紙	複写式用紙→A5用紙
バイタル及び連絡帳転記作業	30分	15分			時間−450分/月	バイタル転記自体不要
経過記録用紙			100枚	0枚	印刷・紙コスト−1500円	現在の登録利用者数
モニタリング作成	16時間	4時間			人件費−20000円×12か月	
日ごとの実績確認	150分	90分			時間−60分/月	2×30日
担当者会議議事録			180枚	0枚		
インカム活用	10分	0分				人を探したり伝達のための移動が減った。複数人に同じ内容を伝達する頻度が減った
複数カ所のデータ修正の減少	3分	0分				日誌・ワークシートなど

削減効果集計（年間）		
	作業時間	1か月約36時間減少
	使用枚数	年間約1400枚減少

2024年度は、「よなごエリア」、「さかいエリア」を中心に未設置事業所への導入を予定しています。

（2022年～2024年）

第6次中期目標

中期目標の実践を通して、互恵互助、SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）の推進に貢献していきます。

※月間目標　4月：あいさつ月間、5月：安全月間、6月・12月：環境月間、7月：事故防止月間、8月・2月：省エネ月間、9月：生活改善月間、10月・3月：防災月間、11月：品質月間、1月：おもてなし月間

※オレンジの文字　2023年度の重点項目

具体的な目標	数値目標

Ⅰ 当たり前品質の徹底と新しい価値の創造



1 基本サービスの再確認～現在のサービスの質の向上～

①顧客が当たり前と思う基本サービス、当たり前品質の標準化	●当たり前品質の確認・ヒヤリハット、ISO見直し ●アンケート総合満足度対前年2%改善
②環境美化・物を大切にする文化づくり	●熱源に係る使用料年間1%減　●エリア環境美化活動定例化

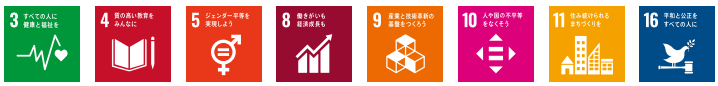
2 入り口の品質の向上～内外における繋がりづくり～

①断らずサービス開始まで迅速かつ丁寧に行える体制づくり	●利用調整担当者設置　●サービス利用開始までの時間改善率
②医療機関と老健・在宅の連携強化	●稼働率、受け入れ率の対前年5%改善
③法人内外との顔の見える関係づくり	●計画的な営業活動、他法人主催研修会参加

3 新しい価値の創造～安心して暮らし続けることのできる地域づくり～

①地域づくりの推進	●地域住民の満足度　年次計画対比
②在宅の限界点の向上	●在宅限界点向上システムの利用10名以上
③在宅、施設における食事の質、栄養改善	●栄養マネージメント、メニュー見直し ●利用者及び家族の　満足度2%改善
④回復期から生活期へのリハビリテーション体制づくり	●訪問リハ件数、通所リハ対前年5%増
⑤ライフステージに応じた障がいサービスの充実	●新サービスの提供　●アンケート総合満足度対前年2%以上改善
⑥こうほうえん保育コンセプトの浸透	●ゼロ宣言の継続評価　●各園の取り組み件数
⑦レストランの新しい価値の創造と収支改善	●新メニューの提供数　●収支の黒字化
⑧自主運営ボランティアの組織化によるシニア世代の活躍の場の提供	●活躍の場提供数　●保険外サービスの構築数
⑨他法人へのコンサルタント事業の推進	●中国、他法人の評価維持　●年間2名以上派遣
⑩組織強化に値する新規事業への取り組み、地域資源を生かした他組織との統合	●他組織との連携、合併、新規事業数

Ⅱ 強くしなやかで健康な組織づくり



1 課題を解決する組織づくり～見える化・分かる化・できる化～

①委員会を含めたマネージメントレビューの見直し	●委員会の見直し、組織体制の再構築
②災害や感染に備えたBCPの整理と連携の強化	●2022年末までにBCP改良、法人全体訓練の実績

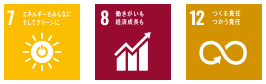
2 職員の健康維持とワークライフバランスを確保した安心して長く働ける職場環境（文化）づくり

①多様な働き方への対応、多様な人材の活用、働き方・能力に見合った給与体系の見直し	●2023年までに見直し実績　●介護助手数　●外国人材数 ●離職率、職群変更率
②働きやすいサービス提供体制づくり	●残業時間対前年30%削減　●ICT導入実績とペーパー軽減率
③組織エンゲージメントを向上させる職場づくり	●離職率　業界平均より20%減　●健康経営認証の取得

3 こうほうえんの強みを継承できる次世代の育成を見据えた教育体制の充実

①新キャリアパスに基づいた教育体制の再構築	●階層別研修 毎年質、量のレベルアップ
②学ぶ文化づくり	●グループ学習文化のエリア別実績　●e-ラーニング毎年レベルアップ
③中長期を見据えた管理職の育成	●役職者向け研修実績　●育成計画作成

Ⅲ 確かな財務基盤の確立



1 収益体質づくり

①管理会計の導入とサービス活動増減差額 毎年3%以上の確保	●管理会計の導入　●サービス活動増減差額3%

2 次の成長に向けた施設改修

①計画に基づいた大規模修繕の立案と、計画的な推進	●計画の作成、実績　●エリアデザインコンセプトの立案

3 地域貢献活動の安定運営

①エリアでの地域支援体制づくり	●地域支援担当の配置　●寄付人数、金額対前年増

Ⅳ イノベーション（社会変革）に向けた広報活動



1 こうほうえんのファンを増やす広報活動

①ウィズコロナ時代に対応した利用者職員とのコミュニケーション体制づくり	●発信回数、ソーシャルメディア活用実績
②学会発表や職能団体への参加によるこうほうえんの活動の認知度向上	●対前年以上の学会参加、発表

2 福祉現場で働く人のイメージアップ

①福祉現場を体感できる広報の実施	●対前年同等以上の発信回数、実施回数
②AJCC（オールジャパンケアコンテスト）の継続開催と各種団体、企業との連携強化	●メディア掲載数

法人本部の取り組み

Efforts of Corporate Headquarters

社会福祉法人こうほうえん（採用・求人）Instagram

こうほうえん東京事業本部 Instagram

総務部の活動実績

01 勤怠管理システムの導入＜総務課＞

2022年9月に勤怠管理システム（クロノス）および申請承認システム（クロッシオン）の試験導入を始め、2023年度より本格導入を進めています。システム導入により、勤怠管理事務の精度の向上と効率化、適正な労務管理の推進を図っています。併せて、シフトの見直しや統一化を行っています。



02 所轄庁の指導監査実績＜法務課＞

●受検数：68事業所　●指摘・指導等の中で、改善報告を求められる指摘を受けた件数：30件（うち法人指導監査指摘数3件）

※コロナ5類以降により受検件数が急増しているため単純比較はできませんが、事業所監査で見れば、2022年度18件から27件に増加

増加要因は障害福祉サービス事業所に係る指摘が7件増（受検5件増）と法人指導監査指摘が主因。その他の指導件数も前年以上に多く、特に東京エリアについては、法人としても実地中の口頭指導等も件数に含め、改善に繋げる姿勢を強化しました。

03 法人内の法令遵守監査実績＜法務課＞

5年振りの法人指導監査実施年度となり、会計監査に特化した法令遵守監査を実施。前半は全拠点を対象に経理規程の遵守状況を監査し、後半は指導監査指摘の是正対応を目的に保育事業及びケアハウス事業を対象に実施。

04 法令遵守責任者の活動状況＜法務課＞

❶エリア毎の虐待防止委員会の実施内容等を法令遵守管理者と共有するなど、サポート体制の強化を図りました。

❷異動等による法令遵守管理者の名簿を更新し、情報共有の活性化を図りました。

❸法人主催の内部研修の中で、全職員を対象に法務関連研修を実施しました。

研修人財部の活動状況

01 総括

❶研修体制再構築　従来の研修に加え役職者向け研修を充実。ストレスマネジメント研修、社会保険労務士による労務管理研修を毎月交互に開催。カスタマーハラスメント対策研修、財務研修、倫理研修をトピック開催。特定技能外国人介護士を対象とした日本語研修、フォローアップ研修を新設。第28回こうほうえん法人研究発表会を米子コンベンションセンターにて開催（会場参加296人、ZOOM接続326接続）。

❷職員旅行再開　新型コロナ感染症の5類移行を受け、中断していた職員旅行を再開。東京、山陰、沖縄、韓国計5コースにて実施。

❸健康経営研修の実施　健康経営の推進に向け、女性特有疾患乳がん予防研修、栄養管理・睡眠研修、腰痛予防研修を実施。腰痛予防として、早稲田大学スポーツ科学学術院 金岡恒治教授監修によるモーターコントロールエクササイズを新規に導入。

❹多様な働き方に対応した新人事制度導入準備　ライフスタイルの変化や諸々の事情により転勤やフルタイム勤務が困難な職員に対し、長く安心して正規職員として働くことができる新人事制度の2024年度正式導入に向け職員説明会、意向調査を実施。

02 2023年度 教育研修実績

❶2023年度教育研修実績

●第28回こうほうえん法人研究発表会：2023年3月23日（土）発表演題91題（外部発表3演題、ランチョンセミナー5演題含む）。米子コンベンションセンター3会場をメイン会場とし、オンラインとのハイブリッド方式にて開催。　※優秀賞4題、特別賞（参加者の「いいね！」投票の最多得票）1題、奨励賞8題

●内部研修　本部主催の内部研修の参加者は、1814人＋動画視聴者でした。　※参加者：アンケート回答者。eラーニングは視聴完了者のみ。

※新規採用者研修2回、中途採用者研修19回、キャリアパス研修2回、指導者管理者・トピック研修12回、階層別研修4回

●外部研修　外部団体が主催する46研修に581名が参加しました。

●海外研修　中止

❷第13回オールジャパンケアコンテスト（AJCC）実施内容

●開催日：2023年10月15日（日）

●場所：板橋区立植村記念加賀スポーツセンター

●選手総数：100名（4年ぶりのフルバージョン開催）

（A部門60名：B部門30名：外国人介護士10名）

●開催分野：会場実技／「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」「口腔ケア」「外国人介護士」

●動画撮影：介護福祉士養成校9校

●「こうほうえん」の表彰者

	分野		所属	氏名
優秀賞	認知症	A（5年以上）	介護老人保健施設さかい幸朋苑	森原 翼
	排泄	A（5年以上）	介護老人福祉施設よなご幸朋苑	角 奈津希
奨励賞	看取り	B（5年以下）	シルバーステイ新砂	作田 明彦

03 2023年度 受託研修実績

❶介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修科 実績　定員84名に対して入校者24名、修了者23名で、そのうち法人内就職者は4名でした（就職実績等は2024年5月1日時点）。

❷介護職員等に対して行う喀痰吸引研修事業　介護職員等に対して行う喀痰吸引第一号・第二号基本研修（※講義はオンライン）及び実地研修、介護職員等に対して行う喀痰吸引第三号指導者養成研修及び基本研修と実地研修を実施しました。

04 2023年度 登録教育機関研修実績

❶地域向け初任者研修（米子商工会議所共催）（補助金対象事業）

●受講者：13名（内職員2名）※修了者：13名

❷介護福祉士実務者研修 通信課程（受講生補助金対象事業）

●受講者：13名（内職員5名）※修了者：13名

❸介護職員第二号喀痰吸引研修実績

<基本研修>●受講者：15名　※修了者：13名

<実地研修>●受講者：13名　※修了者：13名

05 外部評価受審

●評価機関：各事業所運営推進委員会

●受審事業所：グループホーム7事業所、小規模多機能8事業所、認知症デイサービス2事業所、定期巡回訪問介護2事業所

06 第３者評価

●評価機関：評価機関：NPO法人メイアイヘルプユー、公益社団法人 長寿社会文化協会、Japan Marketing Agency、パブリックサービスR&C合同会社

●受審事業所：7事業所

07 人財状況

●職員数（2024年3月31日現在）　［単位：人］

エリア	雇用形態		合　計
	正規雇用	非正規雇用	
さかい	274	156	430
よなご	222	147	369
なんぶ	247	112	359
いなば	275	92	367
錦海	120	15	135
北東京	190	112	302
西東京	118	56	174
南東京	100	48	148
法人本部	22	7	29
計	1,568	745	2,313

※）非正規雇用には嘱託再雇用職員含む

●離職率

計算方式	鳥取	東京	全体
①	5.9%	11.5%	7.4%
②	5.6%	10.2%	6.9%

①介護労働実態調査方式：4月2日～3月31日離職者÷4月1日職員数

②中途採用者反映方式：4月2日～3月31日離職者÷（4月1日職員数+4月2日～3月31日採用者数）

●2023年4月新規採用者数　［単位：人］

職種	鳥取	東京	合計
介護士	13	14	27
保育士	4	18	22
看護師	1	0	1
作業療法士	1	0	1
言語聴覚士	3	0	3
計	22	32	54

●平均年齢　［単位：歳］

鳥取	東京	全体
47.2	42.4	46.0

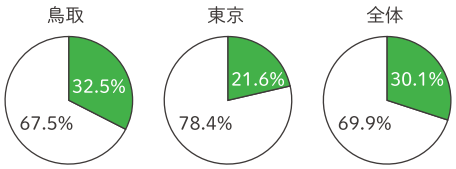
●役職者数　［単位：人］

鳥取	東京	全体
194	67	282

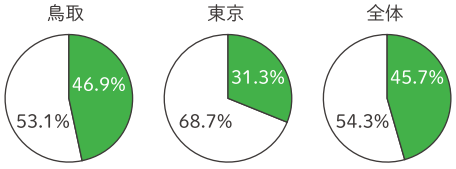
●男女賃金差（平均年収）　［単位：円］

雇用形態	女性	男性	割合
正規職員	3,906,802	4,553,642	85.8%
非正規職員	1,879,842	2,061,474	91.2%
全職員	3,172,929	4,020,507	78.9%

●男性女性比率　■男性 □女性



●男性女性役職者比率　■男性 □女性



平均基本給は女性の方が高いが、以下3点から年収は男性の方が高い結果となった

1.経営職（役員、施設長級）に男性が多い

2.扶養手当、住居手当が男性の方が多い

3.時間外手当、夜勤手当が男性の方が多い

（保育士の多くは女性であり夜勤手当が無い）

健康対策室の活動状況

01 職員のメンタルヘルス対策

●職員のストレスチェック、個人のストレス診断・集団分析を実施　ストレスチェックの受検率67.5%、高ストレス者の割合10.1%

●毎月、各エリアのメンタル不調者を把握し支援　2023年度は指導者管理者を対象とした、養和病院メンタルヘルスチームによるロールプレイなど実践を交えた研修を行いました。養和病院・平成医会による外部相談窓口による利用状況は、11名でした。

02 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルスの5類移行後も、感染症対策の窓口となり、情報発信・相談対応を行った。

03 健康経営を目指した取り組み

●定期健診受診率　100%　●生活習慣病予防健診の推奨　2023年度受診者137名（前年度比7%増 ※鳥取県内）

●協会けんぽへの健診データ提出　保健指導の受診対象者108名は、勤務内調整をすることで全職員の受診調整ができました。

●職場の腰痛予防対策の法人全体の取り組み　「これだけ体操」を2023年度も引き続き全職員で実施。また、重度の腰痛者に対して、早稲田大学が行っている「モーターコントロールエクササイズ」のプロジェクトにリハビリスタッフも含め30名が参加し、3か月間のエクササイズを実施しました。効果については、現在検証中。

●禁煙の取り組み　法人内の禁煙デーを設置し、職員間の禁煙に関する意識付けを図りました。2024年3月実施の喫煙アンケート結果では喫煙率は15.5%で推移は見られませんでした（対2023年度比）。

経営企画部の活動状況

こうほうえん
季刊誌

01 収支及び業務改善に繋がるプロジェクトを稼働

●ICT　MIMOTE、記録、ナースコール、見守りセンサー、インカムの連動導入調整（なんぶ、いなば）
●フレイル対策　米子市モデル事業を錦海リハビリテーション病院中心に実施、また米子市フレイル対策事業への推進協力
●収支改善対策　いなば幸朋苑を中心に収支改善への取り組み支援実施
●老人保健施設の在り方検討　老人保健施設の運営形態について、2024年介護・診療報酬改定に向け検討
●メニューの統一　鳥取県西部にて献立ソフトを更新し、統一メニュー化を推進

02 経営デザイン スタートアップ認証

●日本生産性本部経営品質協議会による「経営デザイン スタートアップ認証」東京介護部門での認証支援

03 ICT導入関連 補助金申請

●鳥取県：地域医療介護総合確保基金、鳥取県介護分野ICT導入支援事業、鳥取県介護ロボット導入支援事業
●東京都：次世代介護機器導入促進支援事業、デジタル機器導入促進支援事業等活用し導入支援

04 健康経営認証の取得（職員の健康維持とワークライフバランス）

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に継続認定

2024
健康経営優良法人
Health and productivity

05 ホームページの機能性向上

06 事業所開設支援

グループホームはたがさき増床移転への支援

07 その他導入支援

●SNSの活用：事業所によるSNSの活用支援、情報の配信、メディア配信実績向上
●PC更新：法人内管理PCの更新調整

東京事業本部の活動状況

01 新卒採用活動

●延べ147名の学生との面談　6月までの前半戦は福祉系学生にターゲットを絞った介護職、7月以降の後半戦は保育職と、注力分野と期間を分け集中的に採用活動を実施。本部主催施設見学会23回開催、外部就職イベント8回出展、学内就職説明会6回参加のほか、実習生へのアプローチを強化、学校訪問などを積極的に行いました。
●次年度以降の採用対策　夏期～秋期期間中のインターンシップ受け入れを強化。
●外国人留学生へのサポート　介護養成校と連携し、サポートを開始しました。
●2024年4月の新卒採用者数　介護職11名、保育職18名。介護職11名の内、3名が社会福祉士、5名が介護福祉士、7名が実習生で、質的に高い学生を最小限の採用コストで獲得することができました。

02 研修

●経営デザイン認証　東京地区介護部門が、組織のありたい姿や変革課題等を「経営の設計図」に描き明確化していると認められた組織に与えられる「経営デザイン認証組織・スタートアップ認証」を授与されました。
●介護職員交換研修　中堅介護職員を対象に、他事業所での就業体験を実施。ベストプラクティスを相互に共有しました。
●新入職員フォローアップ　入職3か月後研修、6か月後個別面談、年度末研修など、新入職員に対するきめ細かなフォローを行い、定着を図りました。
●公開研修　各事業所で個別に実施している研修を、他事業所でもリアルタイムで受講できるよう、オンライン配信を行いました。

03 地域における公益的な取り組み

●東京地区地域における公益的な取り組み委員会　毎月一回定例会を開催し、各事業所・保育園の取り組みの情報共有を行いました。
●うきまの子ども食堂、西大井の誰でも食堂、向原のかけはしカフェ、新砂の高齢者の居場所作り、ブレッドアンドバターのお昼ご飯応援プロジェクト、各保育園での子育て支援など、新たな地域における公益的な取り組みが続々と実現しました。

04 新規事業

●キッズタウン東十条保育園「子育ち応援モデル事業」　保護者の就労の有無にかかわらず、保育所などを利用していない未就学児を受け入れる、子育て支援事業を開始しました。北区のモデル事業実施園第一号。

2023年のメディア実績 2023 Media performance

雑誌（月刊介護保険、投稿等） 全29件

● Frontiers in Neuroscience（スイス）
※インパクトファクター（IF）：5.152
＜執筆＞錦海リハビリテーション病院：
野坂進之介 理学療法士、今田健 理学療法士次長

● 創立70周年記念誌
日本山岳会山陰支部（2023.06.23）
＜執筆＞廣江研 会長

● パン業界応援マガジンベーカリーパートナー（パン速報BAKERY NEWS）
＜登場＞ブレッド&バター：藤井綾子 係長

● アクティブ福祉
＜登場＞うきま幸朋苑：幸村優美 作業療法士、持吉孝郎 理学療法士

● Visionと戦略
＜投稿＞錦海リハビリテーション病院：角田賢 病院長　2件

● 週刊 山陰経済ウイークリー
＜執筆＞廣江研 会長　6件
＜登場＞特別養護老人ホームよなご幸朋苑

● 回復期リハビリテーション
＜登場＞錦海リハビリテーション病院（角田賢 病院長ほか）　2件

● その他　14件

新聞・ネット配信 全41件

● 日本海新聞（17件）
● 山陰中央新報（4件）
● 産経新聞（1件）
● 高齢者住宅新聞（4件）
● その他紙媒体（2件）
● 日本ユマニチュード学会HP（1件）
● NHK 島根NEWS WEB（1件）
● 産経新聞ONLINE（1件）
● ふるさと鳥取県定住機構が公開するWeb情報誌「Turn」（1件）
● その他Web媒体（9件）

テレビ・ラジオ 全9件

● ニュース
《高齢者に対する脱水症予防の取り組み、
『コミュニティセンターりんRIN』開所式の様子》
NHK総合 鳥取放送局　＜登場＞廣江晃 理事長、
廣江研 会長、エンジョイりんRIN、
尚徳地域包括支援センター

● ニュース
《J3サッカー「ガイナーレ鳥取」ふれあい訪問
「Be supporters!」企画》
NHK総合 鳥取放送局
＜登場＞社会福祉法人こうほうえん、
アザレアコートこうほうえん、キッズタウンかみごとう

● いろ★ドリ
《特集「放送開始65年 日本海テレビコラボ企画」》
NHK総合 鳥取放送局　＜登場＞廣江研 会長

● ニュース
《失語症の人たちが会話を楽しむ催し 松江》
NHK総合 島根放送局
＜登場＞錦海リハビリテーション病院：竹内茂伸 副院長

● ニュースエブリィ日本海
《鳥取県の西から東まで 新たな聖地へ サイクリングイベント》
日本海テレビ　＜登場＞錦海リハビリテーション病院：
今田健 理学療法士次長

● パルディア
《『レストランアザレアコート』ランチメニューの紹介》
中海テレビ放送　＜登場＞レストランアザレアコート

● ニュース
《社会福祉法人こうほうえん「令和6年度新規採用者入社式」》
中海テレビ放送　＜登場＞社会福祉法人こうほうえん

● ラジオ10秒CM
《地域にもっとお互いさまを！社会福祉法人こうほうえん、
地域共生社会の実現を目指します。》
FM山陰　＜登場＞社会福祉法人こうほうえん

● テレビCM
《新しい日常》　山陰の民放TV局（3局）、中海テレビ放送、
えるもーるYYビジョン　＜登場＞グループホームはたがさき



2024年度入社式での
新規学卒者インタビューの様子





『コミュニティセンターりんRIN』開所式の様子

地域への公益的な取り組み

Initiatives for the public interest in the region

「こうほうえん」の事業は、“地域との共生”や“地域との連携”を柱として行われています。
地域公益事業や地域貢献活動について2023年度の実績を紹介します。

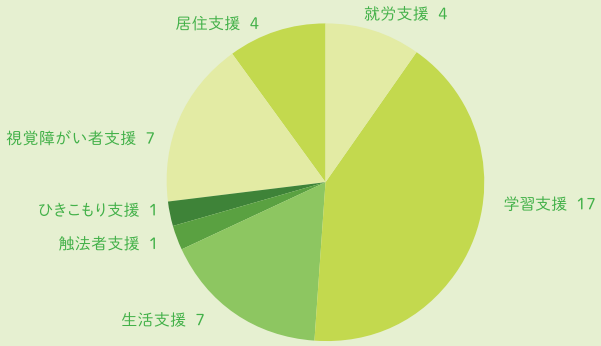
地域公益事業の実施（地域総合支援室の活動）

●地域総合支援室の活動

01.総合相談事業　延15件

訪問支援（アウトリーチ）による伴走型支援と、重層的な支援ネットワークの構築

02.総合支援事業　延41件



03.外部団体とのネットワーク　7件

- 鳥取県ライトハウス（視覚障がい者関係機関）
- 鳥大医学部附属病院ロービジョン外来（視覚障がい者関係機関）
- 労災病院ロービジョン外来（視覚障がい者関係機関）
- 鳥取県居住支援協議会
- 居住支援連携（社会福祉法人養和会）
- 居住支援連携（社会福祉法人尚仁福祉会）
- 米子市社会福祉法人連絡会

●地域総合支援活動の収支

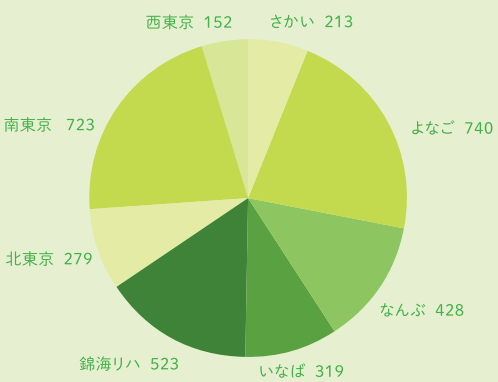
【単位：千円】

		2022	2023	増減
収益	寄付金	6,004	2,761	-3,243
	補助金	3,312	180	-3,132
	他	988	1,097	109
	計	10,304	4,038	-6,266
費用	事業費・事務費	10,384	3,860	-6,524
	他	6,228	4,144	-2,084
	計	16,612	8,004	-8,608
サービス活動外増減差額		150	232	82
経常増減差額		-6,158	-3,734	2,424

地域貢献活動 ⇒ 互恵互助の理念に基づいた活動

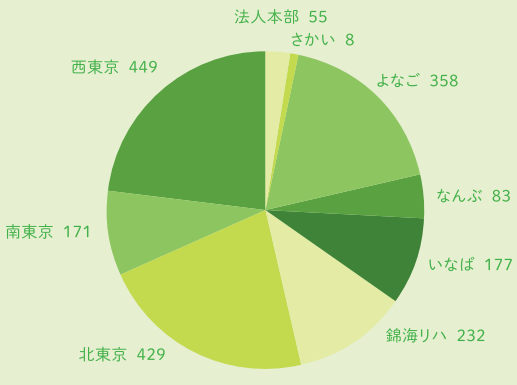
●実習受け入れ実績（延人数）

3,377人（前年：3,617人）



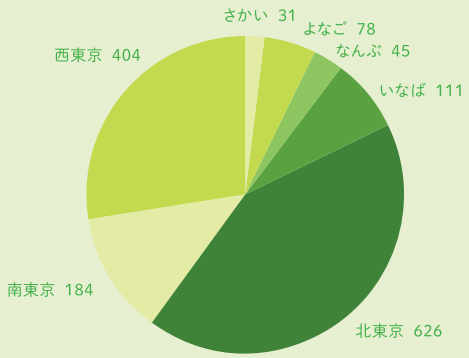
●見学者受入実績（実人数）

1,962人（前年：1,732人）



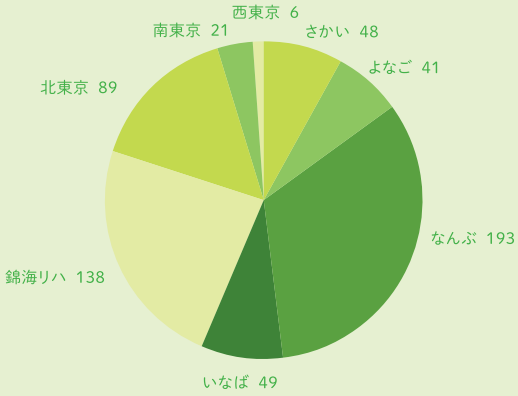
●ボランティア受け入れ実績（延人数）

1,479人（前年：586人）



●職員によるボランティア等（延人数）

585人（前年：1,508人）



法人減免状況

社会福祉法人減免額

		延人数	減免額	補助金額	実質減免額
特別養護老人ホーム	11	1,437	29,523,773	11,770,734	17,753,039
在宅サービス	22	236	2,396,953	577,994	1,818,959
2023年度　計	33	1,673	31,920,726	12,348,728	19,571,998
2022年度　計	29	1,815	34,125,828	13,480,427	20,645,401

独自による取組の減免額（低所得者に対して食事代等の一部減免等）

	事業所数	減免額
2023年度	14	10,611,215
2022年度	18	11,972,650

無料低額診療による低所得者への減免額（介護老人保健施設、リハビリ病院、診療所）

	老健さかい	老健なんぶ	老健いなば	診療所悠々	錦海リハ病院	減免額合計
2023年度	2,612,197	978,797	3,128,090	112,850	2,441,400	9,273,334
2022年度	2,760,415	1,755,325	3,739,078	95,400	1,635,540	10,131,104

高齢者向け優良賃貸住宅の低所得者への減免額（アザレアコート、ケアホーム西大井）

	減免額	補助金額	減免額合計
2023年度	29,123,938	29,123,938	0

生活支援ハウス事業への補てん額

	さかい	よなご	なんぶ	いなば	補てん額合計
2023年度	3,234,713	4,763,308	11,031,100	5,142,519	24,171,640
2022年度	3,129,102	4,897,349	7,110,899	8,459,285	23,596,635

地域活動等への寄付及び支援⇒地域公益事業の補てん含む

2023年度	3,503,975
2022年度	6,158,000

集計

	減免額	補助金額	実質減免額
2023年度合計	108,604,828	41,472,666	67,132,162
2022年度合計	117,621,826	56,053,846	61,567,980

こうほうえんキャッチフレーズ

「地域にもっとお互いさまを！　社会福祉法人こうほうえん　地域共生社会の実現を目指します」

エリアにおける活動状況

さかいエリア Sakai area

01 ヘルスケアタウンさかいみなと（境港市）

鳥取県境港市誠道町2083
TEL：0859-45-6781（代表）

ヘルスケアタウン
さかいみなとHP



職場、地域で活躍する「特定技能」外国人「メンドーザ・シャルメイン・マソングソング」さん

新さかい幸朋苑

2023年10月から、『介護老人福祉施設新さかい幸朋苑』で特定技能外国人「メンドーザ・シャルメイン・マソングソング」さん（フィリピン出身）を受け入れています。フィリピンから日本に来られ、日々介護の勉強と日本語の学習に励んでおられます。異なる文化や言葉の中での労働は、想像以上に大変なことでしょうが、弱音を吐かずに頑張っています。ご利用者の方々にも丁寧に接し、ケアを提供しており、そのまじめな態度や姿勢は施設内でも評判です。
逆に私たちも多くのことを学ばせてもらっています。まだ来日して6か月ですが、こうほうえんにとって必要不可欠な存在となっています。これからの成長を楽しみに見守っていきたいと思います。

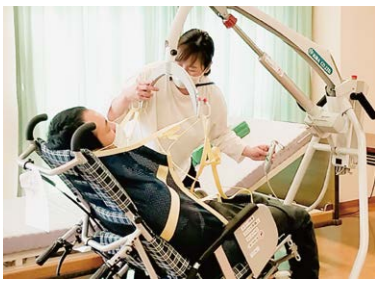

メインさん


夢みなとタワーで3月24日に開催された
映画「縁の下のイミグレ」上映会&パネルディスカッション
ではパネラーとして登壇しました。（写真左2人目）

介護の質向上を目指して特養でチーム対抗の「ノーリフティングコンテスト」

さかい幸朋苑

『さかい幸朋苑特養』は“各職員が安全、安楽なリフトの移乗ができる”を年次目標に掲げ、「ノーリフティングコンテスト」開催しました。コンテストはリフトを使った移乗における課題に沿って、選手の介護の様子を動画撮影し後日、審査員が映像を観て評価します。
表彰は「すずらん・たんぽぽ」チームが最優秀賞を受賞しました。また、参加した特養の全5チームに表彰状が贈られました。表彰状はチームごとに異なり「優しくて明るい声かけができた賞」など、優れた点をまとめた文面内容にしています。
コンテストを通じて介護の質の向上だけでなく、チームの結束力向上にもつながりました。


実技：リフトを使った移乗支援



表彰：「すずらん・たんぽぽ」チームが最優秀賞

デイサービスセンター
さかい幸朋苑 Instagram

新さかい幸朋苑
Instagram

鳥取県から「移住アドバイザー」の委託を受ける ～「向上心、探求心」のある人財～ さかい幸朋苑

<介護老人保健施設さかい幸朋苑 森原翼（介護福祉士）：コメント>

自身の移住経験を通して、兼ねてより移住者向けに情報発信を行っていきたいと考えていたところ昨年の夏、移住前に相談をしていた（財）ふるさと鳥取県定住機構の当時の担当者の方と話す機会があり縁があって、鳥取県より移住アドバイザーを委嘱される運びとなりました。



境港市、米子市、江府町を巡る大阪発着の1泊2日間のバスツアーの初日、境港市の方や移住相談員から、移住後の生活に欠かせない、住居、仕事、交通手段、子どもの学校のことなど境港市の暮らしの話など、参加者からの質問を交えながらの交流の場となりました。
（しおさい会館にて：森原さんは写真左端）

鳥取県への移住者向けに県の魅力ある情報発信・相談などの活動やPR等を行い、新たな移住者の発掘、きっかけづくりが役割になると思います。活動地域として境港市がメインとなりますが、ニーズがあれば本定住機構の本部が在る鳥取市や支部が在る東京・大阪にも出向きます。

『みなと幸朋苑』開苑10周年 みなと幸朋苑

地域と共に歩んできた地域密着型介護福祉施設入所者生活介護『みなと幸朋苑』は、開苑10周年の節目を迎えました。

みなと幸朋苑は、明るく家庭的な雰囲気を持つ、定員29名以下の小規模な施設です。ご本人の尊厳を保つことを第一に地域や家族との結びつきを重視し、できる限り住みなれた地域で自立した生活を送れるよう介護支援を行っています。

開苑セレモニーは、コロナ禍で面会制限がある中、ご来場の際に体調を確認し「茶話会」を開催しました。参加者は、ご利用者と一緒にお菓子やケーキ、お茶を喫食されながら有意義な時間を過ごされました。



「茶話会」の様子

「地域密着型」とあるように、今後もご家族や地域の方に親しまれ、ご利用者からも「ここでよかった」と言っていただけるよう成長していきたいと思います。

出前授業で「介護の仕事の魅力」を伝える

境港市から介護職理解促進事業における講師の派遣依頼を受け、『さかい幸朋苑特養』の原田篤主任相談員が境港市内に在る3つの中学校を訪問しました。

原田講師は1学年の生徒に、介護の仕事や施設のご利用者・地域の方との交流の様子などを交えながら介護の魅力を紹介しました。



講師の話を熱心に聞き入る生徒＝
1月15日 境港市立第一中学校

エリアにおける活動状況

よなごエリア Yonago area

02 ヘルスケアタウンよなご（米子市）

鳥取県米子市上後藤3-7-1
TEL：0859-30-0123（代表）

ヘルスケアタウン
よなごHP



事業の休止、開設、移転

サービスの利用状況や利便性の向上等の観点から2023年度は3つの事業所の休止、移転、開設を行いました。

①2023年3月31日、『デイサービスセンターよなご幸朋苑』（2017年開設）が休止。約20名のご利用者は、よなごエリアの他3つのデイサービスで利用を継続されています。

②2023年4月1日、『グループホームかわさき』が移転。移転に伴い規模を大きくし、『グループホームはたがさき』（3ユニット18名定員）として開設しました。「今までよりも設備面でも充実しています。新しい地域での活動や交流はこれからの課題です。夏祭りや文化祭など積極的に出かけ交流を深めていきたいと思っています」（管理者 有澤祥子）

③2023年10月1日、『住吉加茂地域包括支援センター』が、両三柳のかわさき事業所から、上後藤ケアハウスよなご幸朋苑の1階に事務所を移転。職員も増員し、年々増加してきている相談対応、地域課題の解決のための政策提言を行っています。「地域の方々に愛され、信頼される事業所として活動を行ってまいります。今後ともよろしくお願いいたします」（管理者 足立育世）



『グループホームはたがさき』
開苑式



米子市住吉・
加茂地域包括支援センター

特定技能（外食産業）職員を採用 レストランアザレアコート

2024年1月13日、法人で初めてとなる「外食産業」の特定技能職員を2名（フィリピン出身）採用しました。2名とも技能実習生として日本で働いた経験があり、生活日本語は問題がないのですが、外食産業（飲食業）や介護施設での就労に関してはすべてのことが「初めて」になります。苦労があるようですが、米子での生活や教えた業務もすぐ覚えるなど、異文化への順応性の高さには日本人職員も驚いています。自分たちの目標（日本語能力試験N2合格、特定技能職員第2号試験合格）をしっかり持ち、日々頑張っていますので、彼らの目標達成のサポートをしていきたいと考えています。



よなご幸朋苑
Instagram

レストラン
アザレアコート
Instagram

キッズタウン
ぱれっと
Instagram

キッズタウン
かみごとう
Facebook

よなご幸朋苑
Facebook

2023年度米子市フレイル予防事業事業所登録

フレイル度チェック会場として『デイサービス暖だん倶楽部』、『ケアハウスよなご幸朋苑』、『特定施設アザレアコート』が登録（地域からの対象希望者の受入実施）。フレイル予防実践教室として『デイサービス暖だん倶楽部』が登録しました。1人あたり週1回、3か月間の頻度で運動のほか様々なプログラムで皆さんとフレイル予防に取り組みました。（2024年度は7月から開始予定）



フレイル予防

キッズタウンかみごとう 約4年ぶりの「親子遠足&ミニ運動会」

キッズタウンかみごとう

雨のため体育館での開催となりましたが、コロナ禍により中止となっていた「親子遠足&ミニ運動会」を約4年ぶりに実施しました。「親子で楽しもう 秋のふれあいまつり」をテーマに計画、ご家族と体育館を走り回り、思う存分遊んだ後はご褒美のお菓子とメダルのプレゼント。親子の嬉しそうな笑顔が印象的でした。今後も子どもたちの成長を共に喜び、また子育ての楽しさを共有できる行事を開催していきたいと思います。保護者の方には日頃の育児のアイデアや悩みを共有する、クラス懇談会に参加してもらいました。同じ悩みに共感したり、育児について語り合ったり、温かい時間を共有することができました。



キッズタウンミニ運動会

親子で夏のアクティビティ～大山阿弥陀川谷川探検～

キッズタウンかみごとう

コロナ禍により、年長児のお泊り保育の実施が困難になった4年前から何か親子で実現できるアクティビティを模索していたところ、大山青年の家の谷川探検が目に留まり3年前に初めて実施しました。いつもは甘えん坊で保護者に頼ってばかりの子ども達が、率先して果敢に沢登りを楽しみ、上流へ向かってあきらめることなく全員が予想されていた時間よりも早くゴールすることが出来ました。



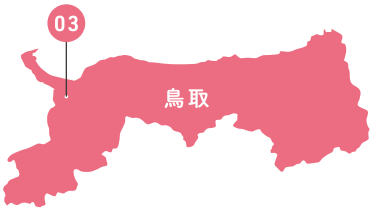
エリアにおける活動状況

なんぶエリア Nanbu area

03 ヘルスケアタウンよなごみなみ（米子市）

鳥取県米子市石井1238
TEL：0859-26-5566（代表）

ヘルスケアタウン
よなごみなみHP

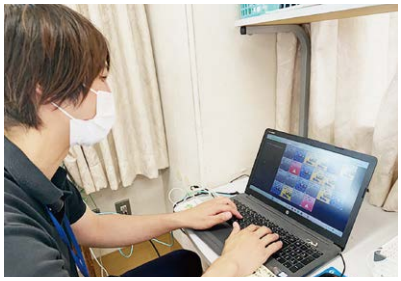


ICTの導入

2022年10月より約8か月間、『なんぶ幸朋苑』では鳥取県の補助金を活用して大規模改修工事を実施しました。この度の改修工事ではナースコール、固定電話等の更新に併せて、Wi-Fi等のネットワーク環境の拡充及び、新たにICT機器の導入を行いました。
ICT機器導入により、職員の業務負担が軽減し、生産性向上に繋がるよう取り組んでまいります。

■対象事業所　●介護老人福祉施設　●介護老人保健施設　●ショートステイ
●特定施設　●ケアハウス　●生活支援ハウス

■この度の改修工事で更新また新たに導入した機器
●ナースコール設備の更新：Vi-Nurse（アイホン社製）
●記録システムの導入：（ワイズマン社製、すぐろく等）
●インカム：ほのぼのTalk（NDソフト社製）
●見守りセンサー：眠りスキャン（パラマウントベッド社製）
●スマホ端末：iPhone（Apple社製）


眠りスキャン


ベッドセンサー

『コミュニティセンターりんRIN』の活動が活発化 コミュニティセンターりんRIN

『コミュニティセンターりんRIN』での活動が少しづつ活発になってきています。子どもから高齢者まで住民の皆さんがたくさん参加されています。「オレンジカフェ」・「B型通所介護」・「子ども広場」などが展開されています。『エンジョイりんRIN』では通所介護・フレイル実践者教室を行って、フレイル予防に力を入れています。


『エンジョイりんRIN』フレイル予防


子ども広場

米子市尚徳地域包括支援センター

2024年3月28日に4地区合同の民生委員の研修会を開催しました。コロナ禍で開催中止していたため、久しぶりの開催となりました。新しい民生委員さんもいらっしゃり、地域にある幸朋苑とより密接にかかわっていただき、相互の連携や協力をお願いする機会となりました。

キッズタウンさくら
HP

米子南高校のファッションショー開催

ケアハウスなんぶ幸朋苑

2023年11月30日、4年ぶりに米子南高校の生徒男女16名によるファッションショーが『ケアハウスなんぶ幸朋苑』で開催されました。生徒たちによる様々な手作り衣装を綺麗で可愛らしく、格好よく披露していただきました。米子南高校からの提案もあり、ご利用者にドレスのモデルとなって、生徒の方と一緒にランウェイを歩いていただきました。最高齢のご利用者は106歳の方でした。会場は大変盛り上がり、感動して涙を流されている方や、目を輝かせて学生やご利用者のモデルの方々を見ておられる方もいました。今後もこのような地域の皆様との交流、イベントを積み重ねていきます。



親子で野外活動～阿弥陀川の沢登り谷川探検～

認定こども園キッズタウンさくら

『認定こども園キッズタウンさくら』は自然豊かな地域の特色を生かして、園周辺の農道の散歩やマラソンを日々の保育の中で楽しんでいます。2023年度は年長児のお楽しみとして親子で大山青年の家の野外活動である阿弥陀川の沢登り谷川探検を行いました。真夏の一日に激冷体験、大人も子どもも水流に抗う不屈体験を楽しむ事ができました。



いしい地域交流会

デイサービスいしい

『デイサービスいしい』では、地域とのつながりを大切にしていくため、定期的な交流会を開催しています。7月は学校が夏休みという事もあり、地域の子どもたちも参加し「エコクラフト工作」を行いました。子どもならではの感性と発想力でいろいろな作品が完成しました。12月と3月には新規ボランティアの方をお招きし、マジックショー、漫才、三味線、踊りなどの披露により、ご利用者、地域住民、職員と一緒に楽しいひとときを過ごしました。



7月交流会「エコクラフト工作」

クリーン活動を行いました

なんぶエリアの地域貢献活動として、「なんぶエリアクリーン活動」を春・秋（5月28日、10月15日）の2回開催しました。各回とも50人を超える参加者があり、職員だけでなく、そのお子さんや奥谷自治会の皆さんも助っ人として参加してくださいました。両日とも天候がよく、敷地内や加茂川土手の清掃作業で気持ち良い汗を流しました。



エリアにおける活動状況

いなばエリア Inaba area

04 ヘルスケアタウンとっとり（鳥取市）

鳥取県鳥取市浜坂228-1
TEL：0857-23-6611（代表）

ヘルスケアタウン
とっとりHP



全職員で取り組む業務改善を実施中

介護サービスの生産性向上は、「介護の価値を高めること」と定義されています。2023年度、いなばエリアでは、日常業務の改善活動に力を入れ、人財育成、チームケアの質の向上、情報共有の効率化を図りました。その活動内容は、職場環境の整備、業務の明確化と役割分担、手順の作成・見直し、記録や情報共有の工夫などです。活動を進めるにあたり、「まず、やってみる」ことを大切にし、走りながら試行錯誤を繰り返しました。

●まずやってみるシートを全事業所が作成して実践（200件以上）
→入所までの時間短縮（入所に必要な書類作成を役割分担）
動画を活用した広報（病院、既存居宅、新規居宅）
フロアを越えたフォロー体制の構築
ペーパーレス化（PC内、ワイズマン管理）
会議中にノートPCで議事録作成

●タイムスタディ：8事業（201名）を対象に実施
→改善案42件、実行中26件、検討中16件

小グループ勉強会、役職者間グループワークを開催

毎月、事業所別に小グループ勉強会と役職者間でグループワークを開催しています。
小グループ勉強会では、直近の課題やケアの質向上、介護保険制度など様々なテーマに対して実施しています。小グループだからこそ、学び実践した結果の意見交換も皆が発言し、振り返り再度実践するサイクルが定着し身になる学びの場となっています。
グループワークでは、役職者間の縦横斜めの連携を強化することを目的に、年間計画を決定し互恵互助や時期に合わせたテーマに対して実施しています。意見交換できる場が増えることで、信頼関係が強まり、お互いに認め合い助けあう組織風土となり、新たな挑戦に一丸となって取り組んでいます。



デイライフいきいき
Instagram

デイライフほのぼの
Instagram

学習支援事業を再開

近隣の中ノ郷中学校3年生を対象に3年振りに学習支援事業を再開しました。コロナ禍で3年間中断していましたが、コロナが5類になったことをきっかけに活動再開に向け、11月5日（日）から3月3日（日）の毎週日曜日に実施することができました。登録者は17名で、参加延人数は130人と多くの生徒さんに利用してもらうことができました。終了後のアンケート結果からも、「総合的に満足」の回答が得られました。一部の生徒さんと保護者さんからは「高校生になっても参加したい」、「下の兄弟姉妹も参加させたい」とお言葉があり、今後の活動展開に活かしていきます。



ICTを活用してより良いサービスへ

眠りSCAN（見守りICTセンサー）インカム、SDフォン（ハンディナースコールシステム）を、老人保健施設、特別養護老人ホーム、ケアハウスに導入。すべてのアプリをiPhone端末に集約したことで業務の効率化に繋がっています。
通所事業所においては「ワイズマンMeLL+」（情報共有ソフト）を活用し、情報の一元化に向け推進中。ホームページ以外にもインスタグラムを開設し、身近な情報を発信しています。



ワイズマンすぐろくアプリでの
入力（iPhone）



眠りSCANを活用し
利用者の様子をPCで確認

出前講座を再開

2023年度はコロナが5類になり、8月頃から徐々に出前講座の依頼が入り始めました。8月から3月までの8か月間で実施回数は9回、実施場所は7カ所、参加延人数は328名でした。幸朋苑近隣以外の市区町村からの依頼が多く、幸朋苑を広く知っていただいていることを実感しました。2024年度はより身近な地域への広報活動にも力を入れ、地域に密着した幸朋苑を目指していきます。





エリアにおける活動状況

錦海リハビリテーション病院 Kinkai rehabilitation

05 錦海リハビリテーション病院（米子市）

鳥取県米子市錦海町3-4-5
TEL：0859-34-2300

錦海リハビリテーション
病院HP



医療機関向け本格ドライビングシミュレーター「DB型Model-A」を導入

山陰地方で生活する人々にとって自動車の運転はなくてはならない移動手段です。当院に入院される患者さんの中にも運転再開の希望をされる方が多くおられ、自動車運転再開支援を行う中で、運転の実践的な練習が不十分であることが課題であったことから、この度医療機関向け本格ドライビングシミュレーター「DB型Model-A」を導入しました。
本物の自動車に使用されているハンドルや座席などが装備されており、3画面のモニターにて実際の運転に近い感覚で体験をすることができます。また、市街地などを走行するソフトも充実しており、今まで不十分であった訓練場面での導入も行うことができます。
導入初期は病棟の入院患者さんから利用を開始し、退院後の対象者の方々にも支援を拡大していきたいと考えています。



医療機関向け本格ドライビングシミュレーター「DB型Model-A」（本田技研工業）

ロンドン五輪ボクシングミドル級金メダリスト・村田諒太さんが当院を視察

2023年5月26日、ロンドン五輪ボクシングミドル級金メダリストであり元WBA世界ミドル級スーパー王者の村田諒太さんが当院を視察されました。角田賢病院長によるリハビリテーション医療や介護予防に関するレクチャーの後、『通所リハビリテーションきんかい』、回復期リハビリテーション病棟を見学され、当院スタッフと意見を交換させていただきました。村田諒太さんは2023年3月に現役を引退され、現在は福祉を含む様々な社会問題の解決に対し自身にできることを模索中とのことで、病院長へ熱心に質問される姿が印象的でした。私たちにとっても日頃体験することのない多くの刺激をいただく機会となりました。



視察後の職員との集合写真（写真中央）村田諒太さん

「回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子」の開催が決定

会　期　2026年2月6日（金）～7日（土）
会　場　米子コンベンションセンター・米子市文化ホール
テーマ　地域のなかの回復期、地域のための回復期
大会長　角田賢（社会福祉法人こうほうえん錦海リハビリテーション病院 病院長）



第47回研究大会in米子 プレ講演会
「回復期リハビリテーション病棟の現在地と未来」
回復期リハビリテーション病棟協会会長 三橋尚志先生

角田賢病院長を大会長に「回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子」を、2026年2月6日（金）・7日（土）の2日間にわたり、米子コンベンションセンターBIGSHIP・米子市文化ホールにおいて開催することが決定しました。当地米子にも全国より2200名を超える参加者をお迎えする見込みで準備を開始しています。
山陰地方で初めて、日本海側としても金沢市に次いで2回目の開催となります。大都市で開催されたこれまでの大会に比べ、会場は小さく、交通手段や宿泊施設も限られる米子市での開催でありますが、山陰ならではのアットホームな雰囲気の大会になればと考えています。
まずは、この大会へ向けて地元山陰での開催機運を盛り上げていこうということで、本大会に先立つプレ企画を開始しました。その第1弾として2024年1月13日に回復期リハビリテーション病棟協会会長 三橋尚志先生をお迎えし「回復期リハビリテーション病棟の現在地と未来」のタイトルでご講演いただきました。当日は100名を超える地元関係者に参加いただくこともできました。
2年後の研究大会の成功はもちろんですが、微力ではありますが本大会を通じてリハビリテーション医療の発展に寄与すべく職員一丸となって準備を進めてまいります。

学術雑誌「Frontiers in Neuroscience」（スイス）に研究論文が掲載

掲載誌　Frontiers in Neuroscience（スイス）インパクトファクター（IF）：5.152（国際的に高IFジャーナルに分類されます）

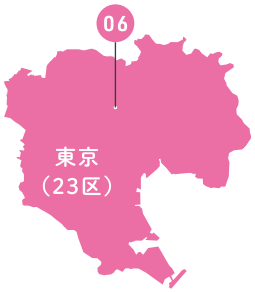


論文が掲載された野坂進之介 理学療法士

研究論文「和名：亜急性期脳卒中片麻痺患者における二重課題による座位ステッピング、歩行中の前頭前野活性化」を野坂進之介理学療法士が今田健次長らと共同執筆し、「Frontiers in Neuroscience」に掲載されました。
前頭前野は新しい運動を学習する際に優先的に活動し、リハビリテーションにおいても重要な役割を果たしています。二重課題歩行により前頭前野が活性化されることは報告されていますが、脳卒中を有する患者は歩くことが難しい方も多いことが課題でした。本研究ではNIRSを使用して前頭前野の血流変化を測定し、歩くことが難しい患者にとっても、座ってできる二重課題（認知課題＋足踏み課題）が前頭前野を活性化させる有効な手段となる可能性を新たな知見として報告しました。

エリアにおける活動状況

北東京エリア North Tokyo area



06 ヘルスケアタウンうきま（北区）

東京都北区浮間5-13-1
TEL：03-5914-1331（代表）

ヘルスケアタウン
うきまHP

地域との交流を活発に～アフターコロナ～

うきま幸朋苑　2023年7月23日には4年ぶりに「うきま幸朋苑祭」を開催し、1000人以上の方々が集まりました。8月5日には屋上を一般に開放し、戸田市花火大会鑑賞会を行い、60人以上の方が参加しました。お正月には入居者様全員が初詣に行きました。
デイサービスセンターと『ブレッド＆バター』との共催で、地域の方々と職員が一緒に参加するピラティス教室を、月に1回保育ホールで開催しています。この教室には毎月多くの地域の方々が参加し、職員とともに楽しく身体を動かしています。それぞれが腰痛予防や介護予防、健康な身体を維持するために参加していますが、一緒に運動することで親睦も深まり、楽しい時間を過ごしています。


ピラティス教室


うきま幸朋苑祭り

キッズタウン東十条保育園　職員が保育園隣の地蔵坂下公園に花を植え、近隣の方々の憩いの場をきれいにしています。「キッズフェスタ」では子どもたちや地域の方々の作品を展示し、世界の楽器コンサートや保育士によるお楽しみ劇場・読み聞かせコーナーなどを楽しむことができました。特に人気だったのは、線路沿いの保育園ならではのJRとのコラボコーナーで、駅長さんの白い制服を着せてもらったり、パネル写真を撮ったりすることができ、子どもたちやご家族に大好評でした。


花を植える様子


キッズフェスタ

公益的取り組み
～長期休暇で給食のない子どもたちへのお昼ご飯応援プロジェクト～ ブレッド＆バター

夏休みや冬休みなどの長期休暇中、給食が提供されないことが、一部の家庭や子どもたちにとって課題となることが報道され、そのニーズに応えるべく、当施設では長期休暇中にお昼ご飯の提供を開始しました。最初は周知されず、訪れる子どもたちも少なかったですが、口コミで情報が広がり、次第に「お昼食べに来ました」という子どもたちが増えてきました。特に夏休みや冬休みの間は、地域のボランティア団体が協力し、日用品の配布なども行われ、地域の支援と共に喜ばれる取り組みとなりました。



介護老人福祉施設
うきま幸朋苑
Instagram

キッズタウン
うきま保育園／
夜間保育園
Instagram

ブレッド&
バター
Instagram

キッズタウン
あとりえ
Instagram

キッズタウン
ぱれっと
Instagram

キッズタウン
東十条病後児
保育室すずらん
Instagram

ご利用者ご家族に愛され、信頼される北東京を目指して

キッズタウンうきま　一日保育士体験は、保護者の皆様にとって子どもたちの日常や保育士の働きぶりを垣間見ることができる良い機会です。一日中、保育士として子どもたちのクラスに参加し、一緒に遊んだり、着替えやトイレのお世話をしたりします。「自分の子どもがこんなに楽しそうに友だちと遊んでいるなんて知らなかった」「家ではご飯を自分で食べないのに、友だちと一緒だと自分でスプーンを持って食べていた」といった驚きや、保育士の声掛けの丁寧さなどに関する感想が寄せられます。


保育士体験


運動発表会

今年度は合同で園見学会を開催し、数家庭が一緒に園内を見学し質問をする機会を提供しました。食事をしながら話をすることで、保護者が話しやすくなり、悩みや疑問を気軽に話し合える雰囲気を作りました。この機会では、15家庭が参加し、楽しい交流が生まれました。さらに、4年ぶりに浮間中学校の立派な体育館を借りて運動発表会を開催しました。久しぶりのクラスを超えた応援や親子競技などで、大いに盛り上がりました。

岩淵保育園

天気の良い日は戸外に出て、散歩や戸外活動を積極的に取り入れています。0歳児、1歳児は乳母車などを使っての散歩、少し大きくなるとお友達と手をつないでの散歩になっていきます。また、公園に出かける際は目的をもって実施しています。


戸外活動

キッズタウンあとりえ・キッズタウンぱれっと

2023年度新たに開設された『キッズタウンぱれっと』では、『キッズタウンあとりえ』の卒所者も利用しており、両事業所間での連携を深めています。特に、8月末には「ぱれっと祭り」が開催され、小学校の夏休み期間中に製作や準備を進め、自分たちがやってみたい出店やゲームコーナーを用意しました。このイベントでは、児童発達支援の子どもたちやその家族も招待し、運営やルール説明、接客などを通じて人との関わりや協力する力を育み、達成感や充実感を味わうことができました。




ぱれっと祭り

研究・報告

2023年9月26日に開催された「アクティブ福祉in東京23」で優秀賞を受賞しました。当研究発表については、推薦により関東ブロック老人福祉施設研究総会で発表する予定です。

2024年3月に開催された「法人研究発表」では、北東京エリア全体で2年連続で優秀賞（介護）を受賞したほか、特別賞1題、奨励賞2題を受賞しました。



エリアにおける活動状況

西東京エリア West Tokyo area

07 ヘルスケアタウン むかいはら（板橋区）
東京都板橋区向原3-7-7
TEL：03-5917-0753
ヘルスケアタウン むかいはらHP

08 ヘルスケアタウン 下落合（新宿区）
東京都新宿区下落合1-9-10
TEL：03-3365-1333（代表）
ヘルスケアタウン 下落合HP

09 上石神井幸朋苑（練馬区）
東京都練馬区上石神井3-79-91
TEL：03-5991-1331
上石神井 幸朋苑HP



地域とのつながり ヘルスケアタウンむかいはら

『ヘルスケアタウンむかいはら』では、恒例となっている「かけはしまつり」を中心に、「寺子屋向原」、「かけはし喫茶」、「つなぎのプロジェクト」など、地域住民の交流の場、居場所作りを積極的に展開しています。2023年度は、「つながって元気に」をテーマに、多くの地域住民が活躍する「第5回かけはしまつり」を開催！6法人8事業所が模擬店を出店。100名のボランティアさんに支えられ、300人の地域の方々にお楽しみいただきました！


『キッズタウンむかいはら保育園』の5歳児が中心となって苗植え


第5回かけはしまつりを開催!!

インスタグラムを開始 向原住宅 下落合ショートステイ

新たなこうほうえんファンづくりの一環としてSNSによる情報発信を目指しています。2023年度は『向原住宅』と『下落合ショートステイ』でインスタグラムを開始しました。インスタグラム発信の特徴である写真や動画をより活用し、日頃のご利用者のちょっとした楽しみや活動の様子などを届けていきます。また、保育園児とのふれあいや交流の様子など、いきいきとした表情を発信していきたいと思います。



向原インスタグラムの画面

ヘルスケアタウン
むかいはら
Instagram

ヘルスケアタウン下落合
ショートステイ下落合
Instagram

「向原医療介護連携会議」の取り組み

ヘルスケアタウンむかいはら

サービス付き高齢者住宅にお住まいの方、そして地域にお住まいの方々も含め、医療や介護が必要になっても、安心して地域で生活し続けられるように、住宅に併設する介護事業所、クリニック、訪問看護事業所と「向原医療介護連携会議体」を2022年3月に立ち上げました。
2023年度は、本会議2回の他に、地域住民向けに「脱水」や「認知症」の講演会や、職員向けに「バイタル」「看取り」についての勉強会を開催、好評を得ました！医療職と介護職と連携を深めて、更なる向原・地域包括ケアシステム構築に寄与するよう取り組んでまいります。



医療連携講演会の様子

地域活動への参加と保育事業の発信

ヘルスケアタウン下落合　キッズタウン下落合保育園

『ヘルスケアタウン下落合』では、近隣マンションの建設に伴う地域の賑やかし検討会議に参加し、地域の町会も含めた検討を継続しています。
保育事業では、認知度アップを目指し「おひさまクラブ」や「わくわく会」の開催を定例化しています。また、年長のにじ組が「にじ組はるまつり」というお店屋さんごっこを行っています。今回は初の試みで、「幼児の部」「乳児の部」の2日間に分けて開催しました。ショートステイ、デイハウスのご利用者さんも来てくださり、子どもたちの元気な姿に喜び、涙を流されるなど、お店屋さんごっこを楽しんでいました。



大型マンションの解体に伴う
お祭りに参加



『キッズタウン下落合保育園』
年長のお店屋さんごっこ

新たな取り組みへの挑戦

上石神井幸朋苑

『上石神井幸朋苑』では、開設から5年を迎え、稼働状況も安定する中で、看取りに対する体制の強化、カラオケ機器の導入によるレクリエーションの強化など、新しい事に挑戦した1年間でした。
地域への認知度を高める取り組みとして、開設以来始初めて夏祭りを開催しました。また、町内会への加入や、暮らしの保健室、食事提供サービス「カレーの日」、施設開放イベント、地域福祉講座など、年間7回のイベントを企画実施しました。





夏祭りの様子

エリアにおける活動状況

南東京エリア South Tokyo area

10 ヘルスケアタウン にしおおい（品川区）

東京都品川区西大井2-5-21
TEL：03-5718-1331（代表）

ヘルスケアタウン にしおおいHP

キッズタウン にしおおいHP

11 地域密着型介護施設新砂・新砂保育園（江東区）

東京都江東区新砂3-3-11
TEL：03-5677-1331（代表）

地域密着型 介護施設新砂HP

新砂保育園 HP



研究活動と発表 シルバーステイ新砂 キッズタウンにしおおい

『シルバーステイ新砂』の介護職員が、当法人主催の第13回オールジャパンケアコンテストにおいて看取り部門で奨励賞を受賞しました。現場で働く介護職員にとって、普段行っているケアや対応について改めて考え見つめ直す良い機会となり、審査員の方からの助言は今後のケアに活かせる内容も多く、良い学びの場となりました。



オールジャパンケア コンテスト授賞式



法人研究発表会に向けての グループワーク

『キッズタウンにしおおい』にてヒヤリハット件数を減らし子どもが安全に園生活を送れるように、保育環境を見直す研究を実施、法人研究発表会にて優秀賞を受賞しました。ヒヤリハット報告で特に多い「転倒」「トラブル」「衝突」の項目に絞ったグループワークで原因や状況を付箋に記載して再発防止対策を検討、大本の「原因」を考えることが再発防止にとても重要であると改めて学ぶ機会となりました。

世代間交流

『新砂介護』と『新砂保育園』の日常交流がコロナ禍以前のように盛んに行えるようになりました。微笑ましい光景が自然とあふれ、子どもたちの笑顔に、ご利用者の皆さんも職員も癒され、穏やかで優しい時間となりました。

西大井でも複合施設の強みを活かし、『いきいきセンター』ご利用のご高齢者、『ケアホーム西大井』の住人、『キッズタウンにしおおい』の園児が日常的に交流しました。ケアホームの住人の方々と園児たちは、栽培活動を行いジャガイモや大根を収穫、杖をついていらっしゃるご高齢者を気遣う子どもの姿に一年間の成長を感じるとともに世代間交流のねらいを達成した瞬間でもありました。



日常的な世代間交流



栽培活動を通じての世代間交流

また、地域のご高齢者が集い、5年ぶりに開催した「いきいき祭り」では園児たちがソーラン節を披露すると、会場は拍手の渦に巻き込まれ、「元気をもらったよ！」と大変喜ばれました。

今後も「介護と保育の複合施設」である強みを生かして世代間交流を進めてまいります。

ケアホーム
西大井
こうほうえん
Instagram

新砂保育園
Instagram

キッズタウン
にしおおい
Instagram

ユマニチュードの定着の取り組み

ケアホーム 西大井こうほうえん

『ケアホーム西大井』で日本ユマニチュード学会が創設したユマニチュード認証制度のブロンズ認証を2023年度に取得、組織としてのユマニチュード定着のために、事業所内の体制の見直しと哲学と技術の浸透に取り組んでいます。この1年は、委員会を見直し、活動の定着化、様々な場面でのPDCAサイクルの見える化に注力しました。東京地区ユマニチュード推進チーム作成の月間目標を活用し、個人目標を立てることで現場での具体的な行動や振り返りに繋げました。これからも良いケアとは何かを常に皆で考え続けることができる組織になれるよう研鑽してまいります。



ユマニチュード認証審査

口腔ケアへの取り組み（段位制度）

ケアホーム 西大井こうほうえん

『ケアホーム西大井』で「介護における口腔ケアの基盤を作りたい」との想いのもと、口腔ケアに力を入れてまいりました。2015年以降、ブロンズ・シルバー・ゴールドからなる口腔ケア段位制度を独自で創設、介護職員の口腔アセスメント力と技術力の向上に努めています。日々の技術力が向上することで、口腔ケアのみを目的とする訪問歯科の利用回数の減少、口腔内の異常への早期の気づき・対応が可能となるなど、一定の成果をあげることができました。社会福祉法人長岡福祉協会主管の第1回福祉サービス実践・研究発表会にて「当施設の介護職員が感じる口腔ケアに関する負担感～「口腔関連負担感尺度」～」を発表、取り組みの質の高さと継続性に高い評価をいただき、最優秀賞を受賞しました。住人のQOLの維持向上はもちろん、職員のやる気やチャレンジしたいという気持ちに繋げる一助にもなりました。



第1回福祉サービス実践・研究発表会

地域貢献活動と公益的な取り組み

『グループホーム新砂』での毎月のイベントには、ボランティアのご協力もあり大勢の地域の方々にご参加いただきました。フラダンスの他、入職予定の職員が仲間とボランティアとして吹奏楽コンサートを開催、たくさんの楽器の音色と若者のエネルギーを地域の方々と共感できました。



吹奏楽コンサート（ボランティア）



誰でも食堂

『シルバーステイ新砂』では、近隣住宅の集会場にて認知症カフェ「銀色茶房」を隔月で再開、新たな参加者も増え近隣住民の方々と交流の機会が増えました。

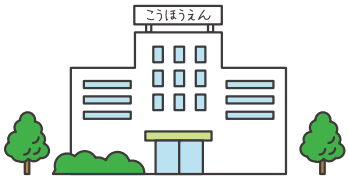
『ケアホーム西大井』と『キッズタウンにしおおい』では、地域のボランティアと介護職員と保育職員が協力し、『いきいきセンター』のキッチンにて、ご高齢者・お子様等どなたでも安価でご利用いただける「誰でも食堂」をオープン、毎月開催しました。多くの地域の方々にご参加いただき繋がりを強めることができました。

回数を重ねるごとに、困りごとの相談を受けるようになり、時には社会参加の機会を設けて欲しいと依頼され参加へと繋げるなど、公益的な取り組みへと広げております。

2023年度

数字で見るこうほうえん

2023's KOHOEN By The Numbers



創立年
1986年

「こうほうえん」は、医療法人養和会広江病院（現養和病院）の創立50周年の際、地域への恩返しとして1986年に設立されました。地域に愛され、地域に信頼される「こうほうえん」を目指し、2021年に創立35周年を迎えました。



職員数**2,355名**

日本に約21,000ある社会福祉法人の中にあっても大規模な法人です。



事業所数
119事業所

鳥取県と東京都で事業を展開。その事業所数は119に上ります。地域に根差した総合的なサービスを提供していることが法人としての強みです。



実施サービス数
222事業

介護老人福祉施設をはじめ、サービス付き高齢者向け住宅や保育園からなる複合施設を展開。事業所で行うサービス数は222事業に上ります。介護のみならず、保育、障がい福祉サービス、リハビリテーション病院、レストランの運営など総合的なサービスを提供していることが法人の特徴です。

1番
全国初・業界初



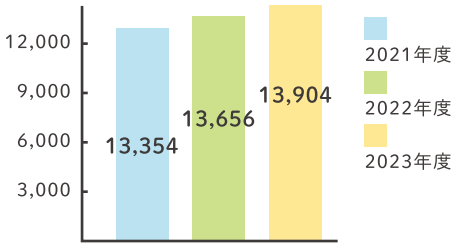
こうほうえんでは、新たな試みにも果敢に挑戦。全国初となる在宅支援センターの設置、老人保健施設とケアハウスの合築に取り組んだほか、都内初となる一般保育園と夜間保育園の合築も行いました。組織として進化し続けることを課した結果、「日本経営品質賞」*、「ISO9001」取得、「ハイ・サービス日本300選」、「おもてなし経営企業選」に選定されるなど、業界初となる快挙も成し遂げています。2024年には昨年に引き続き「健康経営優良法人」の認証を取得しました。 「日本経営品質賞」* 2014年度日本経営品質賞大規模部門（鳥取地区/介護）受賞

2023年度減免総額
108,604,822円

「こうほうえん」は、独自の減免制度や低所得者に対する減免制度など社会福祉法人としての使命を果たしています。

サービス活動収益
（単位：百万円）

社会福祉法人における経営指標で、一般の会社の売上にあたるサービス活動収益は2023年度決算で136億円。安定的に上昇を続けています。



財務の状況

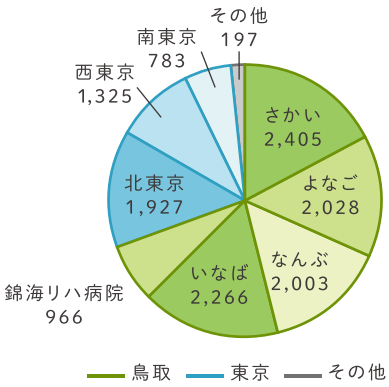
（2024年3月31日現在、単位：千円） financial situation

貸借対照表

借　方		貸　方	
流動資産	4,815,463	流動負債	2,327,863
基本財産	12,772,818	固定負債	2,113,584
その他固定資産	3,744,096	基 本 金	466,670
		国庫補助金等特別積立金	5,332,981
		その他の積立金	1,842,056
		次期繰越活動増減差額	9,249,223
		（内当期活動増減差額）	345,659
		純資産	16,890,930
計	21,332,377	計	21,332,377

資金収支計算書

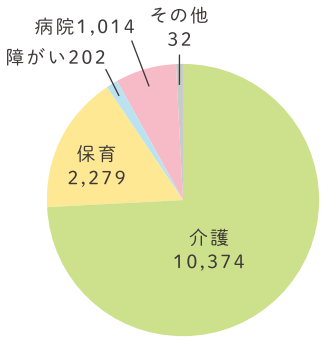
借　方	
事業活動支出	13,104,537
設備整備等支出計	827,652
その他活動支出	280,003
当期資金収支差額	300,901
前期末支払資金残高	3,128,793
当期末支払資金残高	3,429,694
計	14,513,093



エリアごとのサービス活動収益

（単位：百万円）

こうほうえん本部は鳥取県にありますが、サービス活動収益は、鳥取県70%、東京30%と東京での活動収益が大きくなりつつあります。



サービスごとのサービス活動収益

（単位：百万円）

収益の約3/4は介護分野ですが、保育や障がいの分野において新たな事業所を開設するなど、社会のニーズに応じてサービスを拡大しています。

ご寄附のお願い

社会福祉法人こうほうえんでは、地域の皆様が安心して暮らせる社会の実現を目指し、日々運営をしております。
弊法人では、弊法人が行う社会福祉事業（介護・医療・保育・障がい者支援・地域総合支援）の一層の充実のために、個人、法人など皆様からご寄附を受付けております。お寄せいただいた寄附は財源の一部とし、老朽化した施設の改修やさらなる設備の充実、利用者へのサービス向上、また、地域社会全体の福祉向上に直接役立てさせていただきます。
皆様からのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

ご寄附は下記の方法にてお受けいたしております。

寄附方法

1. 寄附申込書の記入方法について(1)または(2)よりいずれかを選択

(1) URL、または二次元コードより https://qr.paps.jp/onw9AO
寄附申込書をダウンロードいただき必要事項を記入後、郵送またはご持参ください。宛先は下記の通りとなります。
宛先：〒683-0853　鳥取県米子市両三柳1400
社会福祉法人こうほうえん 法人本部事務局 寄附担当宛

寄附申込書

(2) 二次元コードより
寄附申込書（googleフォーム）の必要項目を記入し送信

googleフォーム

2. 振込みについて
山陰合同銀行 米子西支店（普通）口座番号3730494
口座名義　フク）コウホウエン　チイキコウケンジギョウ

お問合せ先

銀行振込の際は、ご本人様の確認がとれませんので、必ずお電話かメールでご連絡ください。
電話：0859-24-3111　E-mail：welfare@kohoen.jp

税制優遇制度について

■個人の場合
寄付金が2,000円を超えた場合は、確定申告を行うことで税制上の優遇措置を受けることができます。

■法人の場合
一般の寄付金控除額とは別枠で、法人税法上の損益参入ができます。
※詳細につきましては国税庁ホームページをご参照ください。

皆様からの寄附金2023年度は6,827,000円 主に以下の用途で活用させていただきました。

施設事業運営費として　ご利用者皆様の生活がより快適になるような環境整備および用具・機器の充実等に活用
また 地域公益事業運営費として 学習支援、視覚障がい者支援、居住支援、触法者支援などに活用

事業活動計算書

貸　方	
事業活動収入	14,022,924
設備整備等収入	429,576
その他の活動収入	60,593
計	14,513,093

借　方		貸　方	
サービス活動 費用	13,633,836	サービス活動収益	13,904,237
サービス活動 外費用	63,321	サービス活動外収益	109,455
特別費用	41,239	特別収益	233,453
税引き前当期活動増減差額	508,749	（法人所得税）	1,180
前期繰越活動増減差額	9,125,563	（実質当期差額）★	345,659
当期末繰越活動増減差額	9,471,223	（法人所得税）	1,180
その他の積立金積立額	250,000	その他の積立金取崩額	28,000
次期繰越活動増減差額	9,249,223		
計	14,247,145	計	14,247,145

01



ヘルスケアタウンさかいみなと（境港市）

鳥取県境港市誠道町2083 TEL：0859-45-6781（代表）

<さかい>介護老人福祉施設 さかい幸朋苑／短期入所生活介護事業所 さかい幸朋苑／介護老人保健施設 さかい幸朋苑／ケアハウス さかい幸朋苑／
特定施設入所者生活介護 さかい幸朋苑／デイサービスセンター さかい幸朋苑／認知症対応型デイサービスセンター さかい幸朋苑／
訪問介護事業所 さかい幸朋苑／訪問看護ステーション さかい幸朋苑／通所リハビリテーション事業所 さかい幸朋苑／
訪問リハビリテーション事業所 さかい幸朋苑／ケアプランセンター さかい幸朋苑
<せいどう>デイハウス せいどう／生活支援ハウス さかい幸朋苑　<わたり>デイハウス わたり／ビスターレ わたり
<あがりみち>グループホーム あがりみち／デイハウス あがりみち　<ひので>グループホーム ひので　<新さかい>介護老人福祉施設 新さかい幸朋苑／
短期入所生活介護事業所 新さかい幸朋苑／地域密着型介護老人福祉施設 みなと幸朋苑／グループホーム みなと／デイサービスセンター 新さかい幸朋苑

02



ヘルスケアタウンよなご（米子市）

鳥取県米子市上後藤3-7-1 TEL：0859-30-0123（代表）

<よなご>介護老人福祉施設 よなご幸朋苑／短期入所生活介護事業所 よなご幸朋苑／介護老人保健施設 きんかい幸朋苑／
短期入所生活介護事業所 きんかい幸朋苑／生活支援ハウス よなご幸朋苑　<ケアハウス>ケアハウス よなご幸朋苑／米子市住吉・加茂地域包括支援センター
<かみごとう>グループホーム かみごとう　<よねはら>デイハウス よねはら　<かわさき>デイサービスセンター かわさき／ケアプランセンター かわさき／
米子市住吉・加茂地域包括支援センター　<アザレアコート>特定施設入所者生活介護 アザレアコートこうほうえん／デイサービスセンター アザレアコート／
訪問介護事業所 よなご幸朋苑　<はたがさき>グループホーム はたがさき　<暖だん倶楽部>デイサービスセンター 暖だん倶楽部／福祉用具貸与事業所 幸朋苑／
生きいきケアショップ 暖だん倶楽部　<キッズタウン>認定こども園 キッズタウンかみごとう／キッズタウン第2保育園／キッズタウン子育て支援センター／
キッズタウンからふる

03



ヘルスケアタウンよなごみなみ（米子市）

鳥取県米子市石井1238 TEL：0859-26-5566（代表）

<なんぷ>介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑／ユニット型介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑／短期入所生活介護事業所 なんぶ幸朋苑／介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑／
ユニット型介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑／ケアハウス なんぶ幸朋苑／特定施設入所者生活介護 なんぶ幸朋苑／生活支援ハウス なんぶ幸朋苑／
訪問介護事業所 なんぶ幸朋苑／訪問看護ステーション なんぶ幸朋苑／通所リハビリテーション事業所 なんぶ幸朋苑／訪問リハビリテーション事業所 なんぶ幸朋苑／
ケアプランセンター なんぶ幸朋苑　<なるみ>グループホーム なるみ
<いしい>認知症対応型デイサービスセンター いしい　<くずも>デイハウス くずも　<ごせんごく>デイハウス ごせんごく／ビスターレ ごせんごく
<ながえ>デイハウス ながえ／米子市尚徳地域包括支援センター／エンジョイりんRIN　<さくら>認定こども園 キッズタウンさくら

04



ヘルスケアタウンとっとり（鳥取市）

鳥取県鳥取市浜坂228-1 TEL：0857-23-6611（代表）

<いなば>介護老人保健施設 いなば幸朋苑／ユニット型介護老人保健施設 いなば幸朋苑／ケアハウス いなば幸朋苑／生活支援ハウス いなば幸朋苑／
デイライフ ゆうゆう／通所リハビリテーション事業所 いなば幸朋苑／介護老人福祉施設 新いなば幸朋苑／短期入所生活介護事業所 新いなば幸朋苑／
特定施設入所者生活介護 新いなば幸朋苑／地域密着型特定施設入居者生活介護 新いなば幸朋苑／ケアプランセンター いなば幸朋苑
<はまさか>グループホーム はまさか　<にしまち>介護老人福祉施設 にしまち幸朋苑／短期入所生活介護 にしまち幸朋苑／通所リハビリテーション にしまち幸朋苑／
訪問看護ステーション にしまち幸朋苑／訪問リハビリテーション事業所 にしまち幸朋苑／にしまち診療所 悠々　<じゅんぷう>デイハウス じゅんぷう
<鳥取市北>デイライフ いきいき／デイライフ ほのぼの／ホームヘルプ 鳥取北／鳥取北地域包括支援センター　<湖東>鳥取湖東地域包括支援センター

05



錦海リハビリテーション病院（米子市）

鳥取県米子市錦海町3-4-5 TEL：0859-34-2300
<錦海リハビリテーション病院>
錦海リハビリテーション病院／
錦海リハビリテーション病院（訪問リハビリ）／
通所リハビリテーション きんかい

06



ヘルスケアタウンうきま（北区）

東京都北区浮間5-13-1 TEL：03-5914-1331（代表）
<ヘルスケアタウンうきま>／介護老人福祉施設 うきま幸朋苑／
ユニット型短期入所生活介護 うきま幸朋苑／
通所介護事業所 うきま幸朋苑／ブレッド&バター／
キッズタウン うきま保育園／キッズタウン うきま夜間保育園
キッズタウン ぱれっと　<東十条>キッズタウン 東十条保育園／
キッズタウン あとりえ　<岩淵>岩淵保育園（東京都北区指定管理）

07



ヘルスケアタウンむかいはら（板橋区）

東京都板橋区向原3-7-7 TEL：03-5917-0753
<ヘルスケアタウンむかいはら>
サービス付き高齢者向け住宅 コーシャハイム向原／
デイハウス むかいはら／訪問介護事業所 むかいはら／
キッズタウン むかいはら保育園

08



ヘルスケアタウン下落合（新宿区）

東京都新宿区下落合1-9-10 TEL：03-3365-1333（代表）
<ヘルスケアタウン下落合>
デイハウス 下落合／ショートステイ 下落合幸朋苑／
キッズタウン 下落合保育園

09



上石神井幸朋苑（練馬区）

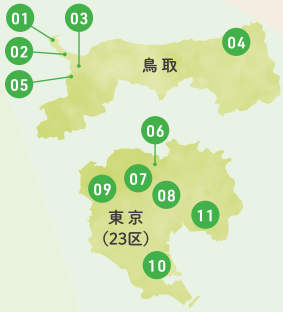
東京都練馬区上石神井3-79-91
TEL：03-5991-1331
<上石神井幸朋苑>特別養護老人ホーム 上石神井幸朋苑／
ショートステイ 上石神井幸朋苑

10



ヘルスケアタウンにしおおい（品川区）

東京都品川区西大井2-5-21 TEL：03-5718-1331（代表）
<ヘルスケアタウンにしおおい>
ケアホーム 西大井こうほうえん／西大井いきいきセンター／
キッズタウン にしおおい



11





地域密着型介護施設・新砂保育園（江東区）

東京都江東区新砂3-3-11 TEL：03-5677-1331（代表）
<地域密着型介護施設・新砂保育園>
グループホーム 新砂（江東区指定管理）／
多機能ホーム 新砂（江東区指定管理）／
シルバーステイ（江東区指定管理）／
江東区新砂保育園（江東区指定管理）

社会福祉法人 こうほうえん

https://www.kohoen.jp　こうほうえん

法人本部事務局
〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1400
TEL：0859-24-3111　FAX：0859-24-3113
フリーダイヤル：0120-418-658

東京事業本部
〒140-0015 東京都品川区西大井2-5-21
（ケアホーム西大井こうほうえん内）
TEL：03-6410-7365　FAX：03-6410-7364

2024年6月28日発刊